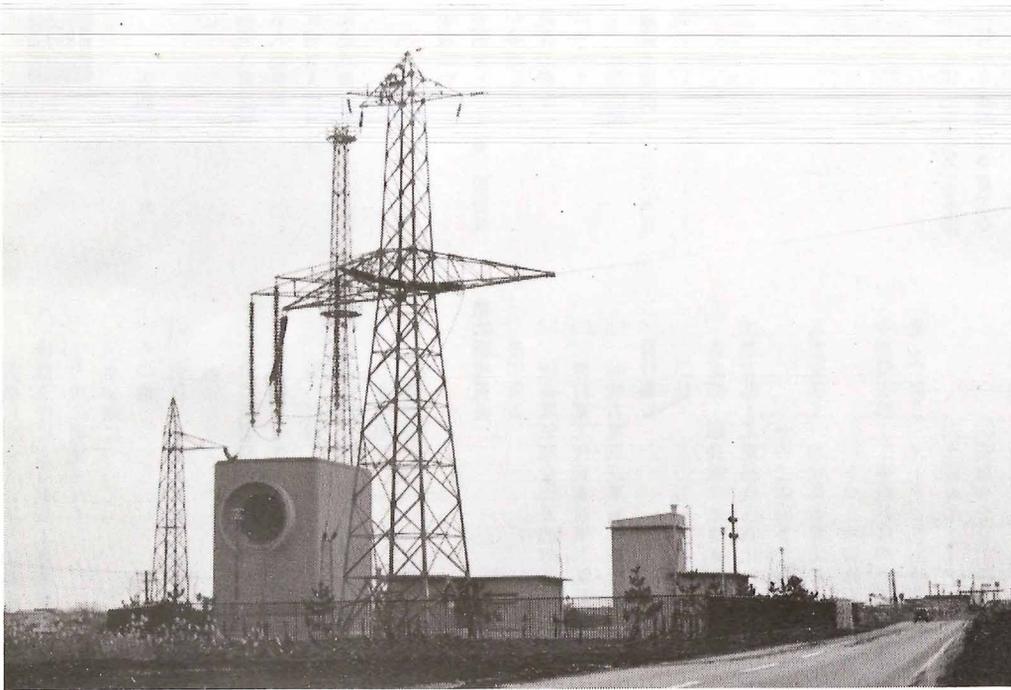


いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集 総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 島山印刷



電源開発株 古川ケーブルヘッド

北海道・本州間電力連系計画の二期工事として、青森県の佐井より津軽海峡を横断した海底ケーブルの本道側のケーブルヘッドである。ここより七飯町の変換所まで約27キロメートルが125KVの直流架空送電線で結ばれている。

連帯と協調

理事長 大倉 伸夫

五、六年前までは、需要の伸長と共に、あらゆる企業がそれなりの実績をあげてきたよき時代でした。その需要の伸びが止っていった現在においても、各企業共同のような経営姿勢でのぞみ、益々営業活動を活発化し、企業を縮小するなどということは全く考えてもいないでしょう。

地方都市である函館地区のわが業界も、好景気の時には元請業者でも下請業者でも、雇用関係のバランスがとれて業者の増加は見られませんでした。

ところが茲景気の後退が伝えられてからは、毎年一割位の業者の増加を見居ります。これは大手業者及び中堅業者の従業員が独立する者が多く目立ち、加えて通信・電力等の専門業者が内線工事部門への進出をはかったことがあげられます。そして、このような形で、横ばいの需要に業者が溢れ、現在の如き過当競争を見るに至ったのです。

各企業が実質前年比一〇%増の目標を樹て、業者の数が一〇%づつ増えているという事は、実質二割以上の需要増がなければならぬのに、ダンピングまで加わり利益の減少をきたしているのですから、更にそれ以上の需要がなければならぬことは自明の理であります。

又、各企業が企業の合理化を図り、下請をはじめ従業員を整理することは、前例の如く独立する業者、はたまた組合員の増加をみるだけであります。

この悪循環を解決する方法はと云えば、『連帯と協調』なくして出来ないことです。

売上高増加の抑制を行なうため、過当な営業活動を制限し、より優秀な技術によって現在以上の適正利潤を図ることであり、又現在の工事価格を割あげること、で利潤は数倍になることを各企業に自覚して貰い、『連帯と協調』の精神を以て安値受注を抑えるのです。

この最も大切な理想が最も困難であることは事実ですが、『連帯と協調』を阻害するあらゆる小さな芽をもその原因を徹底的に究明して、その目的を達成することを期待してやみません。

いたずらにその原因を批判非難するのみではなく、相手の立場にもなり、なぜそこまでになったかを『連帯と協調』の精神を以て絶対解決する制度を確立することの必要性を強調するのであります。

役員会だより

第五回役員会

五四・一〇・五

一、慶弔報告

- (一)、(尙)手塚電気社長母堂死亡
- (二)、トラス電工舎代表者病氣入院見舞
- (三)、伊藤電気商会代表者病氣入院見舞
- (四)、(尙)ヤマト電気工業所社長病氣入院見舞
- (五)、道北協組創立三十周年記念式典

二、貸付報告

- 九社 三五五万円
- 三、各支部・部会報告並提案事項について

八雲支部―安全衛生協議会を開催し、北電、組合員

中渡島支部―価格を新聞に発表出来ないか

四、工業組合出資化への手続について

- (一)、組合員当り出資金額 五〇〇円
- (二)、書面議決書、出資引受書提出期限 十二月末日、

出資の方法について検討願いたい。

五、年末特別融資について

左記事項について審議

- (一)、融資限度額
- (二)、融資方法
- (三)、融資説明会
- (四)、融資利率

六、工事適正価格について

価格適正委員会において、『一般住宅用電気工事標準価格表』を作成したが、一灯当り価格は本意でなく、飽くまでも積算をするという前提のものである。

苦情があれば、委員会に提議して欲しい。

七、支部の構成及び総代の定数について

支部の構成について、総務委員会での審議事項を討議了承した。

(詳細については次号掲載の予定)

八、渡島支庁による電気工業法立入検種

十月中に実施される

九、三水会議について

十、その他

(一)、引込・計器工事の工量単価の改訂について

(お知らせコーナーをご覧下さい。)

(二)、計器板価格の改訂について

(お知らせコーナーをご覧下さい。)

(三)、管外計器工事工料の支払方法変更について

(詳細について函電協第五八号により通達すみにつき省略)

(四)、交通安全について

第六回役員会

五四・一一・六

一、慶弔報告

- (一)、伊藤電気商会代表者病氣死亡
- (二)、奥村電工代表者病氣入院見舞
- (三)、(尙)姥名電気従業員殉職

二、貸付報告

二社 八〇万円

三、各支部・部会報告並提案事項

江差支部―工業組合出資化について不明な点があったので次回まで保留した。

八雲支部―(一)地元業者育成の方法はないか

(二)パトロール実施を決定した。

中渡島支部―工事設計についての疑義があった。

北支部―(一)メーター払出時間を延長出来ないか。

(二)土曜日メーターを払出し出来ないか。

(三)安全パトロールを実施した。

四、会計収入支出状況について

九月末に於ける収入支出の状況及び今後の状況について審議した。

尚監事より中間監査の結果異状ない旨の報告があった。

五、住友団体生命保険の還付金について

住友団体生命保険の配当金があったので、その還付について審議の結果、加入口数一口当り月五〇円の割合で還付することに決定した。

六、年末特別融資について

七、永年勤続者表彰式について

日時 十一月二十二日 午後三時

場所 組合会議室

負担金 被表彰者一名当り 三〇〇〇円

右の通り決定した。

八、支部対抗技能競技大会について

開催日 昭和五十五年一月二十七日(日)

場所 函館市職業訓練センター

(詳細については函電協第七十一号により通達すみにつき省略)

九、全日電工連政治連盟について

(一)、従来の加入者に対する会費について

(二)、新規加入の督促

十、北海道電気工業組合の出資について

十一月五日現在の提出数は五十件である。早急に提出するよう督促願いたい。

十一、その他

(一)、北電「こんにちは旬間」について

(二)、渡島支庁による電気工業法立入検査の結果

イ、標識の掲示不良

ロ、工事整理簿、関係書類の整備不良

ハ、計測器の備付不備

右事項の指摘があったので、整備すること。

(三)、安全作業について

組合行事

8月2日 全道事務長会議に坂本事務局長出席(於十日)

3日 勝)

全日 北支部安全パトロール

7日 第四回役員会

- 9日 北支部定例会議
- 7日 訓練校卓球大会（於訓練センター）
- 5日 東支部定例会議
- 3日 第五回役員会
- 10月2日 席（於浅虫）
- 24日 事業内訓練校連絡協議会に坂本事務局長出席
- 21日 組合事務局慰安旅行（陸中海岸）
- 20日 職業訓練推進懇談会に吉田校長出席（於五鳴軒）
- 17日 中渡島支部定例会議
- 13日 組合同事務局慰安旅行（陸中海岸）
- 11日 適正価格委員会議
- 8日 全日電工連災害互助会に大倉理事長出席
- 7日 全道移動役員会に大倉理事長外理事七名出席（於小樽市）
- 6日 いなづま編集会議
- 31日 総務部会議
- 29日 道職業能力開発協合理事会に大倉理事長出席（於札幌市）
- 24日 訓練校炊事遠足（大沼）
- 23日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 22日 道職業能力開発協合理事会に大倉理事長出席（於札幌市）
- 21日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 20日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 19日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 18日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 17日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 16日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 15日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 14日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 13日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 12日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 11日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 10日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席
- 9日 道工業組合委員長会議に大倉理事長出席

去る十一月二十一日函館商工会議所会議室に於いて、『昭和五十四年度函館市技能功労者の表彰が行なわれ、栄の函館市長賞をうけられました。』
これは、長年にわたる技能の研さんにより、優れた技能を修得し、かつ技能に関する工夫・改善等や後進の指導育成に尽力された方々を対象にして居り、氏の組合並びに訓練校に対する尽力に報いるものと、お喜び申しあげます。



西岡電気
西岡大成氏

技能功労者の受賞

- 全日 訓練校主任会議
- 12日 全 右
- 13日 江差支部会議
- 17日 労務改善集団協議会に坂本事務局長出席（於余市町）
- 18日 北海道電気事業厚生年金基金代議員会に大倉理事長出席
- 19日 道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
- 26日 渡島支庁による電気工事業法立入検査
- 24日 第二九回北工連絡会議（於北電会議室）
- 26日 中渡島支部会議
- 29日 年末特別融資説明会（出席者三五名）
- 29日 会計中間監査

組合員の異動変更

組織・名称・住所の変更

(新) (旧)

- 一、(株)北電工 函館市亀田港町 三八九一六
- 三一六
- 一、巴電気工業所 上磯郡上磯町 字七重浜 二八五
- 上磯郡上磯町
- 二丁目二九一二五

組合員消息

- 一、九月中旬 (株)ヤマト電気工業所社長金本慶三氏病氣入院(十一月中旬退院)
- 一、九月上旬 奥村電工代表者奥村次男氏病氣入院(十月下旬退院)
- 一、十月下旬 西川電気商会代表者西川文夫氏怪我入院

一、十月二十四日

(株)蛇名電気従業員蛇名勝則氏殉職



本年度年末特別融資

十二月十五日 実行

昭和五十二年十二月に第一回目の年末特別融資を実施して以来今年度ではや三回目を迎えた。

十月二十六日組合会議室に於いて説明会を開き、十一月十五日で申込を締切ったところ、公定歩合の引上など市中銀行の貸出しが厳しくなった故か、五十一名からの申込みがあった。

理事者金融委員のほかに借入申込者の中から選出した若干の委員を加えた特別金融委員会において審査を行ない、途中辞退者も出て、実質一〇〇万円貸付二十件、二〇〇万円貸付二十五件合計四十五件七、〇〇〇万円の融資を行なった。

返済方法は前回同様二ヶ月据置き三月からの分繰返済である。

十月以降五人が死亡!!

函館労働基準監督署で業界に

安全対策を要請

函館労働基準監督署では、相次ぐ寒冷積雪期型の労働災害を防止するため、産業界に警告を発している。

同労基署が発表した統計によると、十月三十一日現在の労働災害発生状況は、死亡事故が一二件、休業八日以上の事故が八四四件で、前年同期に比べて増加しているのは、建設業、運送業、港湾荷役業、林業などの屋外産業で、特に建設業については九月までマイナスイスであったものが十月でプラスに転じ、追い込み期に入った十月以降、安全管理不在型の事故が続発し、十一月十五日までに五人が死亡、百二十七人がけがをしている。

この五人の死亡災害のうち、十月八日「上八雲山中の送電線鉄塔建設工事現場において、高さ約四十七米の鉄塔アーム上からUCクレビスが落下飛来して、地上にいた作業員の頭部に激突」十月二十四日「木古内

町亀川山中の送電線鉄塔建設工事現場において、ジンポールデリックの組立作業中、作業を指揮していた工長が倒壊したアームに胸部をたたきつけられ」と、我々電気業界から二人の尊い犠牲者が出ているのである。

また死亡には至らなかったが、十一月十七日には、「木古内町亀川送電線鉄塔建設工事現場において、ガイデリックを用いてユニポの解体作業中、六条の支線のうち二条が木の根株からスッポ抜けてデリックが倒壊、吊荷の振れ止めをしていた電工がマスト・アームに打たれ」あわやという事故が発生している。

同労基署では、労働安全衛生法違反を原因とする労働災害については司法事件として捜査中であるが、このような非常事態に対処して、十一月十二月も建設工事現場を重点的に反覆パトロールするなど巡検監督を強化すると共に労働災害につながる法令違反に対しては、事前送検を含む嚴重な措置を講ずることとしている。

また、業界に対して、

- ①設備や作業行動についてなお一層綿密頻繁な点検を励行することにより不安全要因を除去すること。
 - ②作業方法、作業手順、作業配置の安全性についてシビアに事前検討すること。
 - ③強風、大雨、大雪、高波などの荒天作業を強行しない。
- などを強く要請している。

(事務局取材)

〔安全スローガン〕

『設備と作業の見直し』

定着させよう

職場に安全を』

追悼記



八雲支部、伊藤電気商会伊藤平治氏は、病魔におかされ入院専心治療に努めておられましたが、その効なく過ぐる十月十日逝去されました享年六十才でした。

私共組合員一同、心より哀惜の念に堪えない次第です。

氏は大正十年一月十日北松山町丹羽に生まれ、学校卒業後長い間郵政局職員として勤務して居りましたが昭和三十七年二月一念発起伊藤電気商会を開業し、独学により昭和四十一年八月に電気工士の資格を取得し、四十三年四月に当組合に加入しました。

その間、ご令息の孝幸さんを電子専門学校に学ばせ、卒業後は同業者の元で修業させ、四十四年以来、親子協力して電気工事業界のために努力してきたのであります。

氏の組合並びに業界に残された業績を偲び、ご遺族の方々に心からおくやみ申しあげ、故人のご冥福をお祈り致します。

なお、社業は立派に成長された長男の孝幸氏が継いで居ります。



永年勤続者表彰

十一月二十二日、勤続二十五年以上一名をはじめ、二十六名の永年勤続者に対する表彰式が挙行された。大倉理事長の挨拶に続いて、表彰式、記念品の授与後、渡島支庁長、函館市長、北電函館支店長各来賓の祝辞があり、受彰者代表村井高志氏（三興電機(株)勤務）の謝辞ののち、受彰者の今日までの労をねぎらい、又今後の一層の健斗を祈りつゝ、ささやかながらも和氣あいあいの裡に祝賀懇親会が開かれた。

受彰者の氏名は次の通りです。（敬省略）

事業所名	氏名	事業所名	氏名
勤続25年以上	1名	北斗電気(株)	寺前 守武
共栄電気工業(株)	古岡 弘	樺電工業(株)	岡田 武
勤続20年以上	2名	全上	平松 雄二
(有)太陽電気工業所	尾関 孝治	全上	長崎 悦朗
三興電機(株)	村井 高志	山田工業(株)	戸内 治
勤続15年以上	5名	日本電設工業(株)函館支社	西山 和夫
樺電工業(株)	田中 一紀	全上	山口 茂
共栄電気工業(株)	伊藤 信広	(株)吉浦電機商会	吉浦 正勝
日本電設工業(株)函館支社	新井 安夫	(株)北電工	山口 進平
大倉電気(株)	武藤 竹明	全上	工藤富美男
(有)井上電気	清 政見	全上	中村 由則
勤続10年以上	18名	全上	村上 辰彦
(有)後藤電機商会	久保 辰夫	加賀電気(株)	伊藤 義信
(有)阿部電気商会	村田 要	三興電機(株)	八戸 俊幸
北斗電気(株)	佐藤 秀秋	全上	熊谷 辰美



随筆

平沼 智子

最近、弊社の社員が警察官になると云って退社した。当社に入ってから十年以上経ち、結婚もし、部下も居り、腕前も上クラスである。将来に希望をかけていたので同僚は勿論、彼の上司も私も誠意をもって引留めたが、子供の時から夢であったとの事で、吾々の注告を振りきって警察学校に入学してしまった。本人曰く、給料も職場も何も不満はない。ただ、子供の時の夢を実現しただけ。学校がだめだったら又戻っ

てくるからお願いします。と云う事であった。ところで私は「起承転結のある人生」と云う文を思い出した。

起承転結と云うのは、元来が漢詩の型であるらしく、特に絶句の組立の事を云うのだそうだ。それは

起—歌や詩のはじめの言葉

承—初句をうける言葉

転—百八十度の転換で全々違う言葉

結—前の三句をうけてきちんとしめくくる言葉

次の句は歴史上の人物として有名な「頼山陽」の句だそうである。

起—京の三条の糸屋の娘

承—妹十八姉二十

転—諸国大名は弓矢で殺す

結—糸屋の娘は目で殺す

というのである。なるほど糸屋の娘と大名では転であり、殺すは結である。心にくいままでまとまっている。さすが作者は「頼山陽」と感心する。この方法は、だからとつづけて行く単調さを破ぶり、ワサビをきかした句である。

思い出した文は、人生を一編の詩にたとえたとしたら、人生の転は重大な岐跡であり、「人生五十にして転句を描くべし」と云う言葉がある由、人生の転は完成された一生を送ることが出来るか、又結に言葉を入れる事の出来ない、まとまらない一生となってしまうか。

私は彼の場合をこう置いてみた。

起—電気工事のペンチもち

承—二十五才で班長に

転—三十才で警察官

結—?

人の一生は「結」に来てみなければわからない。「転」は何才の時なのか、又どんな状態の時なのか、人生の転換くらいむづかしいものはない。人智のはかり得ないものである。つくづく考えさせられた。

“全国電気設備安全運動”

(北海道地区) 大綱 きままる

北海道地区における全国電気設備安全運動について大綱次のようにきまりました。

本年の運動実施内容には、漏電しや断器の取付のお勧めと、組合員一名あたり三軒の需要家を訪問し、屋内設備を点検する二つを柱としています。

なお、実施事項細分については別途通知しますので、ご協力の程よろしくお願いします。

一、目的

一般家庭を中軸とする屋内配線等電気設備の安全と省エネルギーに関する啓蒙を行なうとともに、不適合電気設備の改修を実施し、一般用電気工作物の保安確保と電気火災の防止をはかり、あわせて省エネルギーの推進に資することを目的とする。

二、名称

全国電気設備安全運動

三、期間

昭和五五年三月一日より三月三一日まで

四、地域

北海道一円

五、主催

全日本電気工業業工業組合連合会

六、協賛

北海道電気工業業協同組合

七、後援

北海道電力株式会社
北海道電気保安協会
通商産業省
自治省消防庁
北海道

八、事業

- イ、電気保安に関する需要家の啓蒙、指導
- ロ、不適合電気設備改修工事の実施

- ハ、経年劣化電気設備の更新工事の推進
- ニ、漏電しや断器の取付推進
- ホ、電気設備等に関する無料相談
- ヘ、エネルギー使用節約に関する啓蒙指導

- 九、具体的実施事項
 - (一) 準備事項
 - 各単協との協議、予算及び計画立案
 - (二) 周知事項
 - イ、関係団体、後援諸官庁への協力依頼
 - ロ、マスコミ並びに北電、保安協会宣伝紙への依頼
 - ハ、市町村広報紙に対する掲載依頼
 - ニ、ポスターの掲示依頼並びにチラシを町内会一般に配付又は回覧

(三) 実施事項

- イ、屋内設備の点検については、期間中需要家を訪問し、「需要家サービスマン訪問記録表」(二枚複写式)により調査を実施すること。なお、点検調査結果により不良設備を発見した場合は速やかに適切な措置を講ずるものとする。
- ロ、商店の自動販売機並びに屋外工作物を中心に特別訪問を実施する。

(注) 漏電しや断器並びにアースの取付け替。

- ハ、依頼された工事を自店で処理できないときは、組合を通じ速かに他店で工事を完了する。

- (四) 事業成果の取りまとめ
 - 本運動の成果については、各項目毎に工業組合事務局に報告し、工業組合は全日電工連に報告する。

お知らせコーナー

◎北電の引込・計器工事の工量単価が十月一日より次のように改訂されました。

- (イ) 引込工量単価 一点当り四八円(現行一四五円)
- (ロ) 計器工事工量単価
 - 高圧工事 一点当り四八円(現行一四五円)
 - 低圧工事 一点当り三六円(現行一三三円)

◎計器板の価格が九月一日より次のように改訂されました。

品名	販売価格	北電 買上価格	組合員 手数料
単相用 計器板	五七二円 (五二四円)	五八六円 (五三四円)	一五円 (二〇円)
三相用 計器板	一、〇三七円 (九四四円)	一、〇六二円 (九六一円)	二五円 (二七円)

() 内数字は現行です。

☆計器箱・計器板は必ず組合から購入しましょう。

◎かねてより建築中の函館地方合同庁舎が完成し、十二月十日までに次の八官庁が移転入居します。

- 一、函館公共職業安定所 (一階) 電話二六〇七三三五
 - 一、函館労働基準監督署 (二階) 電話二三一〇二七六
 - 一、函館地方方法務局 (三階) 電話二六〇〇五二二
 - 一、函館統計函館出張所 (四階) 電話二三一〇四六三
 - 一、同 情報事務所 (五階) 電話二三一〇三三七
 - 一、函館財務部 (六階) 電話二三八四四五
 - 一、函館行政監察局 (六階) 電話二三一〇九〇九
 - 一、函館保護観察所 (七階) 電話二六〇〇四三一
- 移転先 函館市新川町二五番一八号

◎最低賃金法に基く、北海道最低賃金及び産業別最低賃金が改正されました。

- 北海道最低賃金
 - 日額 二五〇七円
 - 時間給 三一四円
- 昭和五十四年十月三日から
 - (精皆勤手当、通勤手当、家族手当は算入されません)
- 最低賃金額以上の賃金を支払わないと、最低賃金法違反となり処罰されることがあります。
- 北海道労働基準局
 - 函館労働基準監督署

支部対抗技能競技大会

を成功させよう!!

○既に詳細は事務局よりの案内と、各支部会議で議題にも上って承知のことと思いますが、恒例の競技大会を左記により開催することに決定しました。

○各組の優勝者は、来年五月帯広で開催される全道大会に出場することになります。

○事業主、従業員を問わず、我と思わん人は支部の栄光と当組合の名譽にかけて、奮って参加の程を。

記

日時||昭和55年1月27日(日)
AM 10時~PM 4時30分
場所||函館市職業訓練センター
出場者区分

壮年組||昭和23年12月31日以前に生まれた者
青年組||昭和24年1月1日から31年12月31日まで
少年組||昭和32年1月1日以後に生まれた者
に生まれた者

「窓口寸話」あれこれ

☆『身分証明書をお持ちですか?』『いや、そんなもの持っていない。何時からこんなきびしくなったのだ?』と不審かる。免に再訳を話してお帰えり願うが、組合所属の事業所に勤務しているのであれば、とうの昔から承知の筈だが?.....

☆『今迄どこの会社で働いて居ましたか?』『〇〇会社と△△電気の手伝いをして居た。』
『手伝い』とはどのようなことをいうのであろうか?。賃金を貰っていたのであれば働いていたというであろうし、下請と云えば登録業者でないが故に違法行為がバレルし、かと言ってまさかタダで仕事を手伝って居たのでは生活できないと思うが?.....

編集後記

統一地方選挙が騒々しく終ってひと息つくかつかぬ間に、衆院解散||選挙、中央省庁や公団のカラ出張・ヤミ給与、KDDの巨額な不正交際費、イランの米大使館人質事件、石油類の高騰等々、そうでなくても気持ちいい商売の私達の周囲で、さまざまな事件が続発した昭和五十四年でしたが、自分には、あと何枚あるかわからない残り少ない貴重な手持のカードが、又一枚失われてゆく。そんな思いのする師走のこの頃であります。

『不透明』とか『不確実の時代』だとか、新しい用語が流行し、又これらの言葉に適合したような一年でありましたが、大かたの人は『来年こそは』と新しい年を迎えることでしょう。

いずれにしても、『確実に』不景気にはけはならぬよう念じ、毎日の個々の努力が、そのまま将来の大きな理想につながるような積み重ねの日々であり、そして我が業界だけでも心暖まる話がほしいものである。

吉田 要
平沼 智子
工藤 義一
佐々木 三男
駒井 勇太郎



あかるい明日を技術でひろく

東芝電材株式会社

函館営業所

040 函館市大縄町二十二番十四号
電話 函館 四一―一二四一

吟味する

松下電工株式会社

函館営業所

函館市昭和町三九六の一
電話 函館 四二―五八二二

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九―四九
電話 四九―一三三三

全道随一の照明設備センター
電設機器資材の総合電機卸

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五七―一〇七
電話 代四九六二―一
照明 函館市千才町十九の三
電話 代二一七―四八
営業所 札幌・八雲・福島



三菱電材特約店
あらゆる電設資材卸

隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九―一〇八
電話 四九―六二二六

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四―一三三
電話 四二―一六二二三一

明日をひろく電設資材の総合卸商社

株式会社 工三ヤ商会

函館出張所

函館市豊川町七番二八号
電話 二一六―三〇二一(代表)
本社・札幌 支社・東京 営業所・釧路
出張所・苫小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

函館営業所

本社 社 函館市中央区北六条西二丁目一番地
電話 〇一―二二二―一九二二(代)
支 店 函館市新中野町一丁目三番二二号
電話 〇一―四四三―四三三番(代)
函館営業所 函館市八幡町二〇番一三三番
電話 〇一―三三八―四二―一三三三番